

先生方から北中生に「おすすめの1冊」を紹介 パート1

本のタイトル	作者	出版社	おすすめポイント
天地明察	沖方 丁	角川文庫	江戸、四代将軍家綱の時代 日本独自の太陰暦を作り上げるプロジェクトに参加した人物 渋川春海の成長物語 本屋大賞受賞 映画化もされたおすすめの1冊です。
海賊と呼ばれた男 (上・下)	百田 尚樹	講談社	出光興産創業者をモデルとした主人公と、出光興産をモデルにした国岡商店が大企業に成長するまでの過程が描かれている。日本人としての誇りやプライドが感じられる一冊。
十五少年漂流記	ジュール・ベルヌ	講談社 青い鳥文庫	一気に読めてしまう冒険本。読みやすく、話が進んでいくにつれてハラハラ、ドキドキ。
読みたいことを 書けばいい。	田中 泰延	ダイヤモンド社	文章の書き方というよりも、24年間コピーライターとして活躍した筆者のセンスが光ります。読んでいる間、何度も思わず笑ってしまいます。厚みのわりには字数が少ないのも魅力です。
マチルダは 小さな大天才	ロアルド・ダール	評論社	超能力に数学に、小さな女の子が大活躍する痛快なお話です。 読めばきっと元気がわいてきますよ！

